

キャップハンディ体験



1 活動のねらい

ハンディキャップのある人々に対する理解を深めると同時に、介助の方法を学ぶことができます。地域の中でともに生きることができる社会を実現しようとする意欲と態度を育成します。

2 活動の概要

(1) 車イス（10台）

2人1組となり、1人は車イスに乗り、もう1人が介助者となり、コースを1周します。

3人1組の場合、3人目は観察者となり、気が付いた点を他の2人に伝えます。

(2) 目かくし歩行（白杖 88本）

2人1組となり、1人はアイマスクと白杖を使って体験者となり、もう1人が介助者となります。介助者は自分のひじや肩を体験者につかませ、半歩前を歩き、コースを1周します。

(3) 点字

点字の歴史や読み方を学び、簡易点字器で点字を書く体験をします。

(4) 手話

聴覚障害のある方と関わる際に大切にしたいこと等について学びます。

（簡単な手話に触れる内容も含まれます）

3 人数・対象・時間・場所

活動の種類	人数	対象	活動時間	期間	場所
車イス （一部有料）	30人以内	小学4年生以上	1時間	通年	交流の家 （屋内・屋外）
目かくし歩行	100人以内		1時間		
点字（有料）	50人以内	中学生以上	1.5時間		交流の家研修室
手話（有料）	50人以内				

※人数、活動時間についてはご相談ください。

4 準備する物

区分	内容
団体	・白杖体験の目かくし（タオル等）
交流の家	・白杖 88本 ・車イス 10台

5 引率者の役割

係名	人数	役割
代表責任者 （車イス、目かくし歩行）	1名	・全体の総括、指揮、安全管理、連絡 ・コースの巡回、安全指導と事故防止
代表責任者 （点字、手話）	1名	・外部指導員との調整

6 交流の家職員の役割

- ・白杖体験と車イス体験の全体説明と活動のまとめを行います。
- ・物品の貸し出しを行います。

7 指導の依頼について

【点字・手話】点字、手話の活動は、外部指導員の依頼が必要です。指導料は、点字・手話それぞれ7,700円（1時間30分）です。

【車イス】車イスの活動は、当事者の方を外部指導員として依頼することも可能です。外部指導員を依頼する場合の指導料は3,500円になります。依頼しない場合は無料です。

※利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」（ホームページ上に掲載）を提出してください。

活動終了後に請求書を発行します。支払いについては、利用の手引き6ページを参照してください。

8 活動の流れ（例）

(1) 車イス

活動の流れ	内 容
事前準備	・車イスの貸出
集合	・利用者玄関付近に集合
活動	・説明に体験 【コース例】 ピロティ→玄関外（スロープ）→エレベーター→障害者用トイレ→ピロティ ・ふりかえり ※行きと帰りで誘導対象を変えたり、間にふりかえりをはさんだりすると良い。
活動終了	・終了後、物品返却 等

(2) 目かくし歩行

活動の流れ	内 容
事前準備	・白杖の貸出
集合	・ホール（研修室）に集合
活動	・説明後に体験 【コース例】 3階研修室→3階廊下→音楽研修室前階段→1階廊下→ホール側階段→3階研修室 ・ふりかえり ※行きと帰りで誘導対象を変えたり、間にふりかえりをはさんだりすると良い。
活動終了	・終了後、物品返却 等

(3) 点字

活動の流れ	内 容
事前準備	・簡易点字器の貸出
集合	・研修室に集合
活動	・説明、体験、ふりかえり
活動終了	・終了後、物品返却 等

(4) 手話

活動の流れ	内 容
集合	・研修室に集合
活動	・説明、体験、ふりかえり
活動終了	・終了後、物品返却 等

9 実施及び安全管理上の留意点

- (1) 館内では走り回ったり大声を出したりするなど、他団体の研修の迷惑にならないように指導してください。
- (2) 車イス、白杖は、コースを確認し必ず補助が付いた上で体験してください。
- (3) 荒天によって屋外活動ができなくなった場合の代替りのプログラムとしては選択できません。
- (4) 高齢者体験グッズ（子供用：2セット）、妊婦体験グッズ（2セット）も必要に応じて貸し出すことができます。使用する場合は事前にご連絡ください。